

5年松組 算数「 図形の角のひみつを調べよう 」 略案

指導者 佐々木 譲

1. 日時 平成20年10月21日(火) 5校時(14:00~14:45)
2. 四角形の内角の和は、三角形の内角の和をもとにして求められることを理解する。
3. 本時の実際

時 間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備 考
	1. 問題を提示する。 2. 課題を確認する。 どんな四角形でも、内角の和が360度になるか確かめるにはどうすればよいか？ 3. 自力解決をする。 4. 考えを発表し、まとめる。 5. 定着問題に取り組む。 6. 振り返りをする。 7. センターの先生のお話を聞く。	◇ 正方形・長方形・平行四辺形・ひし形・台形を黒板に掲示する。 正方形・長方形から内角の和は360度になることに触れ、すべての四角形においても内角の和は360度になるのか問いかける。 ◇ 今までの学習を振り返り、自力解決に活かせる事柄はないか確認する。 (三角形では・・・) ・3つの角を切り取って集めると、180度(一直線にぴったり)になった。 ↓ どんな三角形でも内角の和は180度。 切って集めるやり方や三角形の180度を使えないか？ ◇ 切って集める作業ができるように、用紙を準備する。 ◇ つまずきが予想される児童には、補助線を引いて考えさせる。 ◇ 一つのやり方だけでなく、複数のやり方で証明できるように指示する。 ◇ 発表用の画用紙を準備する。 ・切って集めるやり方。 ・2つの三角形に分けるやり方。 どんな四角形でも(2つの)の(三角形)に分けられるから、内角の和は(360度)である。 ◇ チェック問題の前に、計算で処理するやり方を1題確認する。 ◇ チェック問題・パワーアップ問題を用意する。	◇ 挑戦状という形で本時の問題を出題する。 四角形の4つの角の大きさの和は何度になるのか調査せよ。 ◇ まとめの補助をする。 ・2つの三角形に分けられ、内角の和が360度になることを視覚的に分かるようにする。 ・平行四辺形やひし形の内角の和が360度になることを実演する。 ◇ センターからの問題を1題準備する。 ◇ 今日の取り組みについて、どうだったか話していただく。	(チェック) 3つの角の大きさが分かって残り1つを求めるタイプ (パワーアップ1) 3つの角の大きさが分かって残り1つの外角を求めるタイプ (パワーアップ2) 平行四辺形で1つの角度が分かっていたいて残りの角度を求めるタイプ (センター) 五角形の内角の和を求める